



令和8年熊本地震 災害ボランティア活動レポート

社会福祉協議会
災害ボランティア
センター

8/3 田中淳 くもと

本報告書の構成

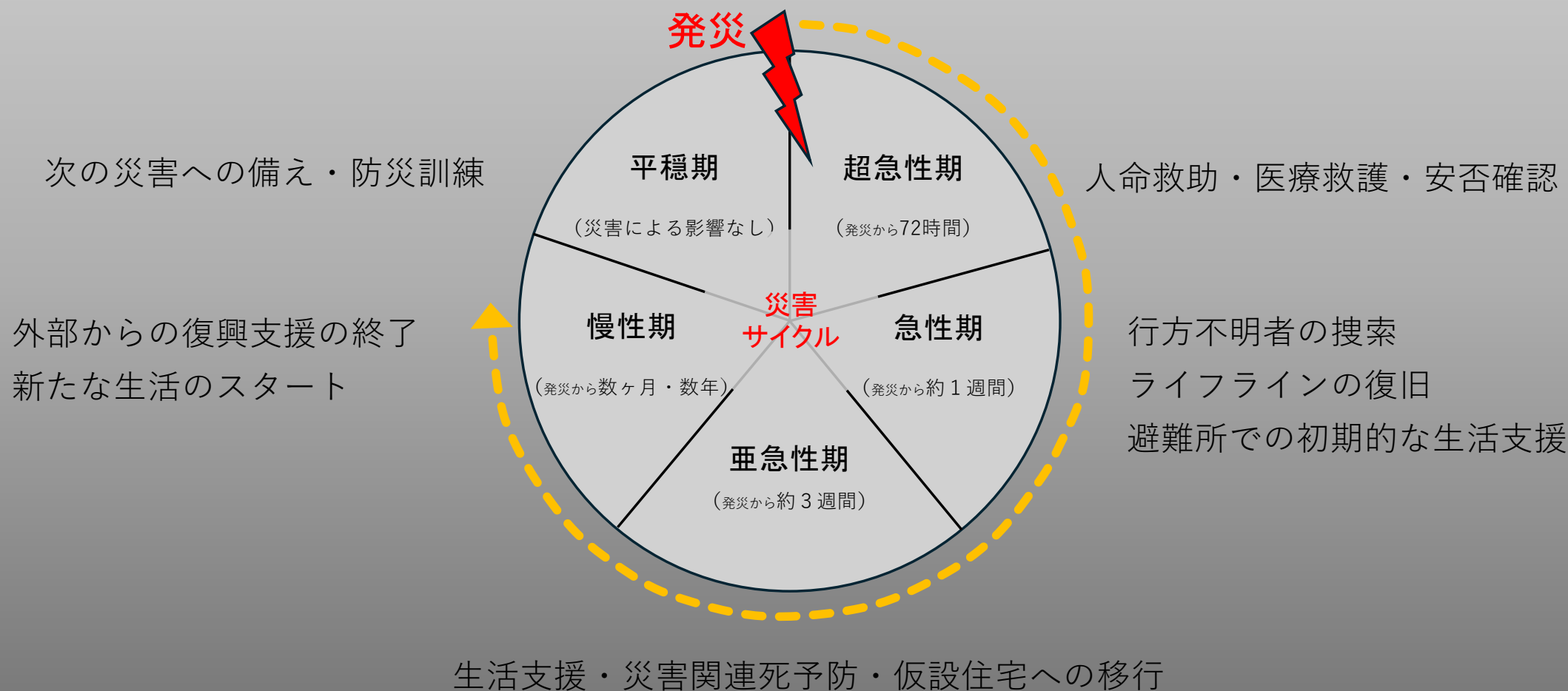
1. 活動概要 — 目的・期間・場所
2. 活動内容 — 記録
3. 安全管理と配慮事項 — 装備・健康・連携
4. 成果と今後の課題 — 到達点と次の一步

私は、31年間消防本部で勤務し、消防・救急・救助・広域災害の現場を数々経験し、超急性期（災害の5つのフェーズ）において主として**公助**の役割を担ってきました。

大規模災害である今般の熊本地震被災者のためにこれまで培った経験を尽くしたいと強く思い、熊本県、各市災害ボランティアセンターおよび社会福祉協議会のボランティア受付にエントリーしました。

これまでとは違うフェーズにおける**公助**について考察しましたのでご一読ください。

災害時の5つのフェーズ



1. 活動概要

□ 目的 被災された方々の生活再建をサポートし、被災地域の早期復旧に貢献する。

□ 期間 2026年8月2日（日）から2026年8月6日（木）5日間

場所

8/2 (Sun)	19:00	自家用車にて出発 【車中泊】
8/3 (Mon)	9:00	上益城郡嘉島町社会福祉センター；拠点到着 ① 受付 ② オリエンテーション ③ 班編成 ④ 被災者宅へ派遣
	16:00	自家用車にて八代市へ移動 【車中泊】
8/4 (Tue)	8:00	八代市社会福祉協議会到着
	9:00	八代市鏡町武道館；拠点到着 ① 災害ボランティアセンター開設準備
	17:00	自家用車にて八代郡氷川町へ移動 【車中泊】
8/5 (Wed)	9:00	八代市鏡町武道館；拠点到着 ① 災害ボランティアセンター開設準備
	15:00	活動終了 自家用車にて阿蘇市へ移動 【ゲストハウス泊；入浴有】
8/6 (Thu)	9:00	自家用車にて出雲市へ出発
	19:00	出雲市到着；帰宅

活動内容

活動内容

8/3 気温39℃

- ・家屋の片付け
- ・被災した家屋の撤去
- ・集積所への物資搬送
- ・軽トラックの整備

2016 震源地

2026 震源地

八代市

5 気温 39℃-40℃

災害ボランティアセンター開設準備

必要物品の調達

既存物品の移動

シート張り（養生）

清掃



- ・災害ボランティアセンター開設準備
- ・必要物品の調達
- ・既存物品の移動
- ・シート張り（養生）
- ・清掃

- ・家屋の片付け
- ・被災した家財の搬出
- ・集積所への輸送
- ・軽トラック使用



3. 安全管理と配慮事項

安全管理

- 装備：ヘルメット（状況によりキャップ）・防塵マスク・安全靴・厚手の手袋
- 健康：熱中症として、こまめな休憩と水分補給
感染症対策として、手洗いとうがいの励行
- 保険：ボランティア活動保険への事前加入を参加条件とする

配慮事項

- 配慮事項：被災された方のプライバシーを尊重し、撮影は許可を得て実施

4. 成果と今後の課題

成果

- 他のボランティア参加者とともに、被災者の支援を実施し生活空間の復旧が着実に前進
- 夏季およびライフライン不完全環境下における自身の活動限界を認識
- 災害ボランティアセンターの開設に向けて前進
- 急性期における公助の一部を経験
- 急性期における公助では、各機関の役割に特徴があり、災害を経験する毎に向上

課題

- 被災地で活動する職員等も被災者であるため、発災後に外部からの早期支援の体制確立
(災害フェーズの「超急性期・急性期」)
- 被災することはジブンゴトであると認識し、あらゆる場面で行動できる知識と技術の習得
- 災害フェーズに応じた関係各機関の支援メニューおよび体制の見直し

まとめ

1. 急性期における公助／災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）の活動を理解することができた
2. 被災地で活動する職員等も同時に被災者であり、発災後早期の支援体制確立を支援する体制の必要性を強く感じた
3. 酷暑下および断水地域における活動は、危険度が高いと認識した
4. 災害は忘れる前にやってくる
ジブンゴト化するための啓蒙が急務である

最後に、厳しい環境下で熊本県、嘉島町、八代市とともに災害ボランティアセンターで活動して下さった皆様、温かく仲間に受け入れてくださりありがとうございました。被災された皆様、ご家族、関係者の皆様の心よりお悔やみ、お見舞い申し上げます。

田中 淳

